

目標

オール多治見による**雨水流出抑制と市民の防災意識向上を実践**、中流域の役割として**下流に位置する市町への流出負担軽減**

●2011年台風15号豪雨被害を受け、平成24年に「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会」を設置し、71事業を実施。対象区域の床上浸水が概ね解消。

【事業期間】2011年から2018年(8年間)

【総事業費】74.9億円(うち 国費:40.2億円)



H23洪水時の様子

庄内川流域図



対策メニュー

短期 中・長期

【流域における対策】

●流出抑制対策

- ①雨水貯留施設の新設(駅南再開発)
- ②貯留施設の回復(緊急浚渫推進事業債を活用し、調整池・河川堆積土砂の浚渫)
- ③民間開発における貯留施設設置指導
- ④雨水貯留施設設置補助金交付

●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けたさらなる取組が必要

- ①立地適正化計画に基づく防災指針の検討

【ソフト対策】

●オール多治見のマンパワー

- ①多治見市浸水対策協議会(関係機関の連携強化)
- ②住民の防災意識の向上(地区タイムライン策定の支援、土岐川観察館及び「りばーぴあ」等の活動)

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10~20年程度を想定